FKシリーズ〔FK・FKN・FKDN・FKP〕 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

・お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
⚠ 気をつけていただく内容です。
⃠ してはいけない内容です。
❗ 実行しなければならない内容です。

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■キャスター取付時のご注意

⚠注意		
❗	ラック全体の質量を考慮してキャスターを選定してください。許容荷重を超えたり、追加加工などによって指定以外のキャスターを使用しますと、変形・破損・転倒する恐れがあります。 推奨キャスター：RD72－5（S），－6（S）	

■設置時のご注意

⚠警告			
アースせよ	感電防止のため、接地（アース）してください。	❗	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。 重量物をスライドレール等により引出した場合、 転倒の恐れがあります。また、引出しを 2 段以上同時に引出さないでください。
⃠	耐震対策のためにM10 以外のアンカーボルトで固定しないでください。転倒・変形の恐れがあります。		

■換気扇使用時のご注意

⚠警告			
回転物注意	回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。	❗	保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。
	必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。		

■コンセントバー・OAタップ使用時のご注意

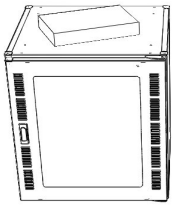
⚠警告

分解禁止	分解、改造をしないでください。感電や火災の原因になります。	発火注意	プラグ付コードを引張らないでください。接触不良により火災の原因になります。
発火注意	定格容量を超えないでご使用ください。超えた場合、焼損や火災の原因になります。		ファクトラインは、プラグを逆向きに接続しないでください。接触不良により火災の原因になります。

■使用上のご注意

⚠警告

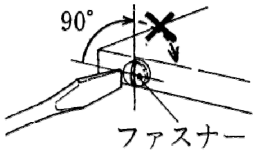
天井面へは局部的な荷重をかけないでください。変形の恐れがあります。



ラック本体には、落下等の強い衝撃を与えないでください。衝撃によりへコミや歪みが発生し、強度の劣化となる恐れがあります。

ハンドルの鍵について、施錠･解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。
無理に引抜くと、キーが破損する恐れがあります。

台板取付け用ファスナーは 90° 以上回さないでください。ださい。90° 以上回すと破損の原因になります。



取付けに際して、ねじをしっかり締付けてください。ねじの締付が不十分ですと、落下・破損の原因になります。
また、締付けすぎの場合は、ねじタップを破損する恐れがあります。
※但し、Sタイトねじにおいて締付時の初期トルク値はこの限りではありません。

ねじ呼び	適正締付トルク値※
5	2.94～3.92N・m(30～40kgf・cm)

機器をマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が 1U(1H)あたり 5kg 以下としてください。
5kg を超える場合は L 型レールなどを併用し、固定してください。
※機器の質量が 5kg 以下であっても形状(奥行寸法)や重心位置、施工時の取扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。

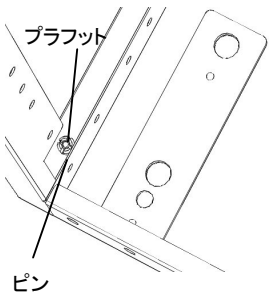
次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。
･高温、高湿となる場所･腐食性ガスのある場所
･可燃性ガスのある場所 ･塵埃やオイルミストが多い場所
･振動、衝撃のある場所 ･ノイズ、電界、磁界の強い場所
･水滴のかかる場所

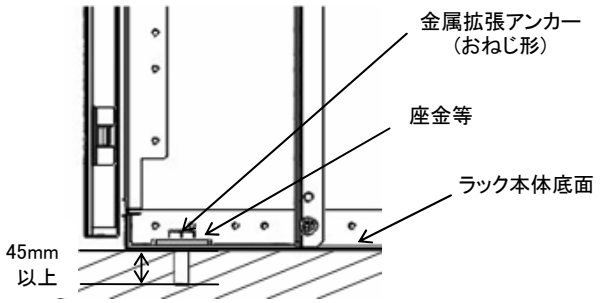
■施工上のご注意

⚠注意

ラック底面のアンカーボルト用取付穴4－Φ12を使用し、
M10アンカーボルトにて床面に 4ヶ所固定してください。
また、施工の際はプラフットを外してください。

	最小埋め込み深さ
ボルト径 M10	45mm





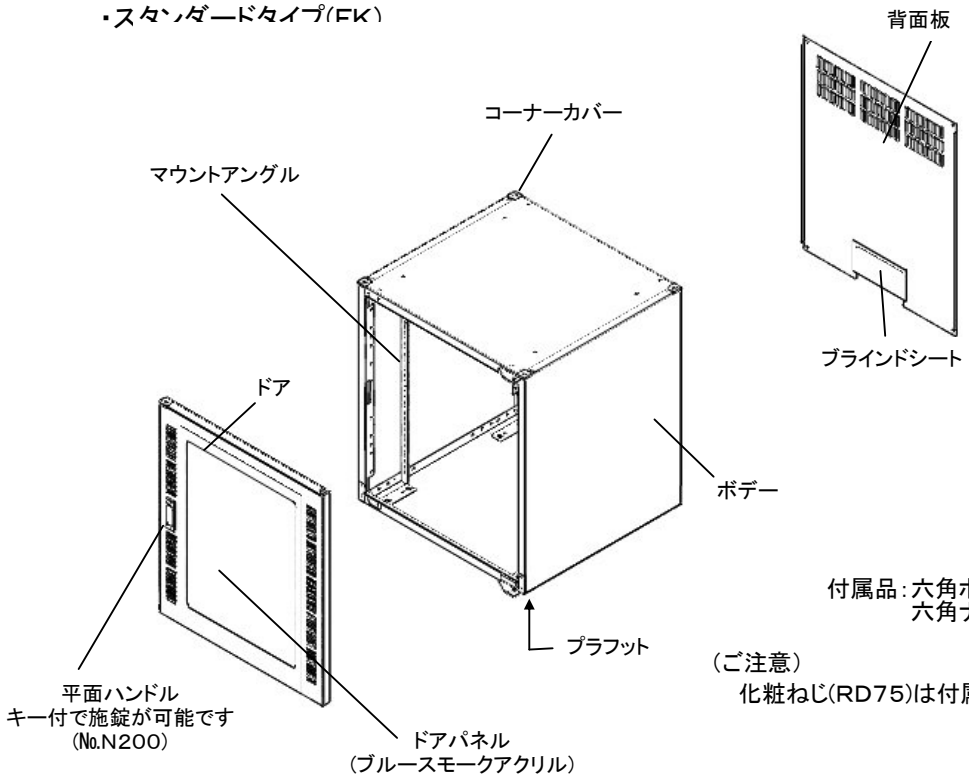
ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。設置に不備があると、ドアの開閉及び機器搭載に支障をきたす恐れがあります。

■輸送上のご注意

⚠注意	
ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラック及び機器の破損の恐れがあります。	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締めすぎないようにしてください。特に締めすぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締めすぎにより、ドアの変形の恐れがあります。

■構　成

・スタンダードタイプ(FK)



・スタンダードタイプ

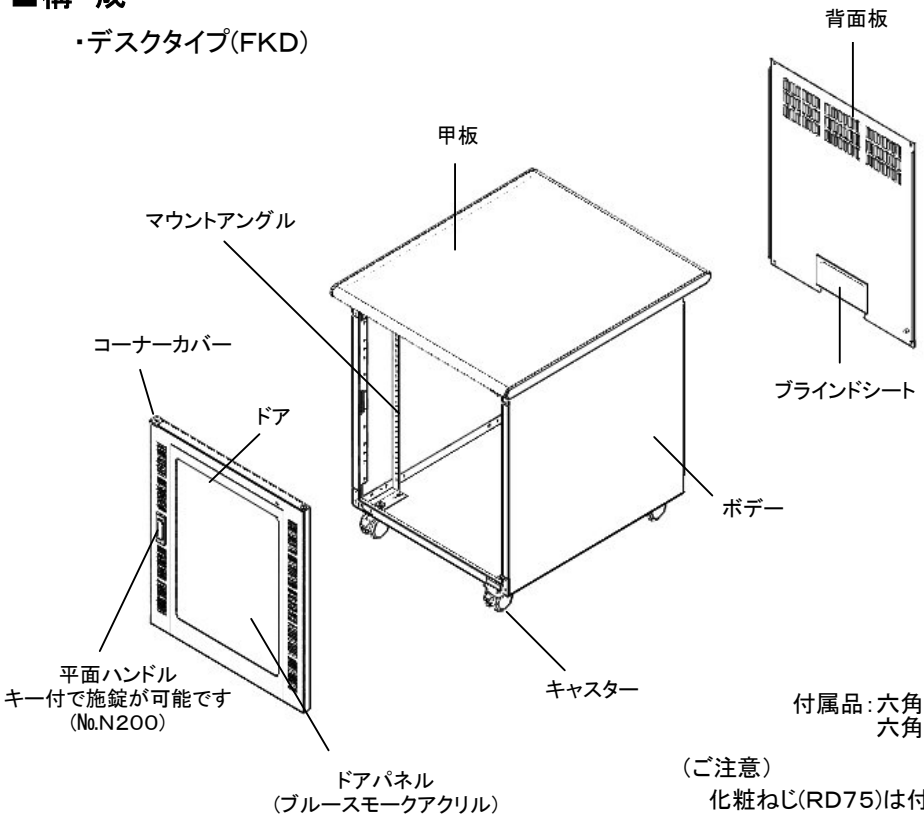
部 品 名	材 質	板 厚	数量
ボ デ ー	鉄	0.8mm	1
	鉄	2.3mm	
ド ア	鉄	0.8mm	1
背 面 板	鉄	0.8mm	1
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｼｰﾄ	PE+PET	1.2mm	1
ﾏｳﾝﾄｱﾝｸﾞﾙ	鉄	2.3mm	2
ｺｰﾅｰｶﾊﾞｰ	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾙ	－	4
ドアパネル	ｱｸﾘﾙ	3.0mm	1
プラフット	EVA	－	4

付属品:六角ボルト M5 ･･･ 4 個(RD81 取付用)
六角ナット M10 ･･･ 4 個(レベルフット取付用)

(ご注意)
化粧ねじ(RD75)は付属されていませんので別途ご用命ください。

■構　成

・デスクタイプ(FKD)



・デスクタイプ

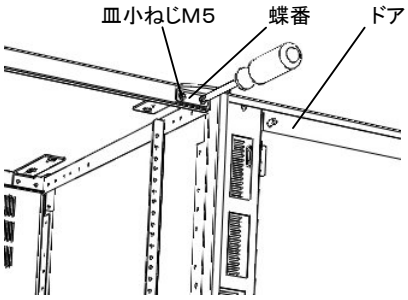
部 品 名	材 質	板 厚	数量
ボ デ ー	鉄	0.8mm	1
	鉄	2.3mm	
ド ア	鉄	0.8mm	1
背 面 板	鉄	0.8mm	1
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｼｰﾄ	PE+PET	1.2mm	1
ﾏｳﾝﾄｱﾝｸﾞﾙ	鉄	2.3mm	2
甲板	鉄	0.8mm	1
		1.2mm	
	ﾒﾗﾐﾝ樹脂	－	
	ABS	－	
ｺｰﾅｰｶﾊﾞｰ	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾙ	－	4
ドアパネル	ｱｸﾘﾙ	3.0mm	1
キャスター	―	―	4

付属品:六角ボルト M5 ･･･ 4 個(RD81 取付用)
六角ナット M10 ･･･ 4 個(レベルフット取付用)

(ご注意)
化粧ねじ(RD75)は付属されていませんので別途ご用命ください。

■ドアの着脱方法

・ドアを 180° 以上開いた状態で、ボデーに取付けられた上部蝶番の固定ねじ(皿小ねじM5)を外し、蝶番とドアを取外してください。
また、装着の場合は逆の順序となります。



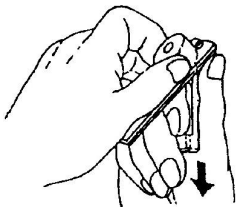
（ご注意）
・上部の蝶番を取外す際は、ドアと上部の蝶番を手で保持してください。保持しないと、ドアが落下する恐れがあります。
・取外しの際に、蝶番のリングを紛失しないようにしてください。

■ドアの左開き変更方法

①ドアに付いているハンドルを裏側より取外してください。
②ハンドルを下図のように変更してください。

1）ベロの締付ねじを外しベロを取外します。

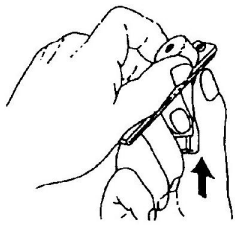
2）図の様な姿勢で取手を下に引抜きます。



3)図の位置にピンが挿入されています。これを下向きにして、ピンをなくさない様にして外します。

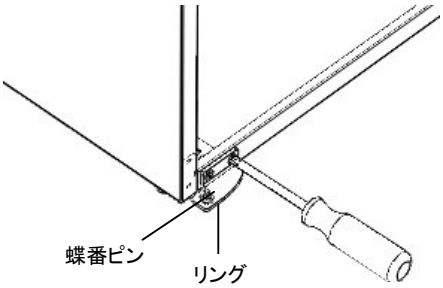
）図の穴位置にピンを挿入します。

5）図の様な姿勢で取手を本体に確実に組込みます。



⚠注意
ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付けたまま作業をしますと、部品、ねじなどが落下する恐れがあります。

③ボデーに取付けられた下部の蝶番を取外してください。
④上部に取付けられていた蝶番を、正面から見て左下に取付け、リングに蝶番ピンを差込んでください。
（蝶番を取付ける前に、皿小ねじM5にて取付け穴を通しておくと締めやすくなります。）



⑤ドア下部の穴に蝶番ピンを差込みます(図 1)。次に、ドア上部の穴にリングを差込み、下部に取付けていた蝶番を取付けてください(図 2)。

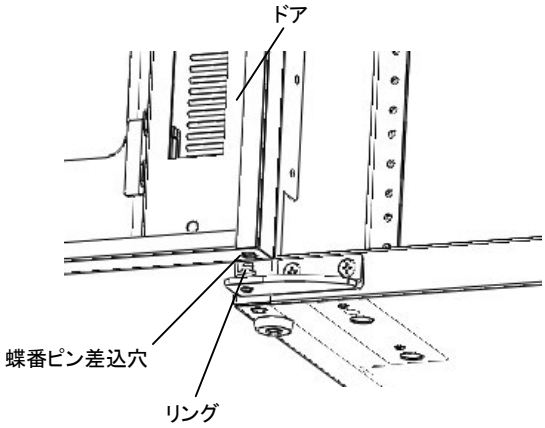


図 1

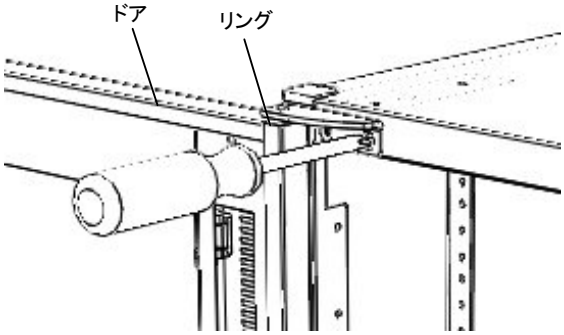


図 2

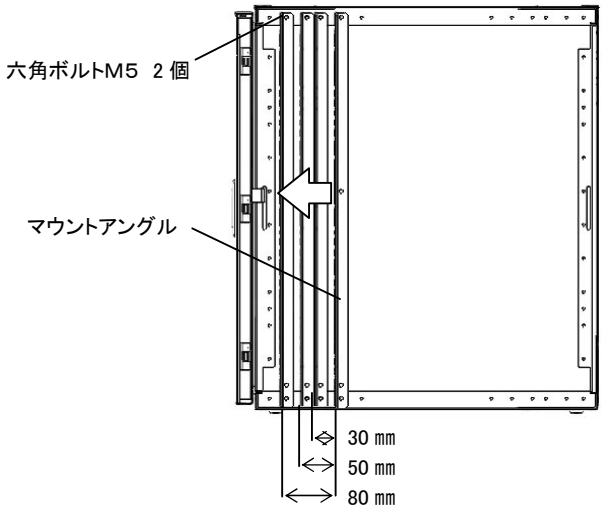
（ご注意）
・ドア下部の蝶番ピン取付穴に、蝶番ピンが入っていることを確認してから上部の蝶番を取付けてください。
・ドアを取付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか必ず確認してください。

■マウントアングル・マウントレールの移動方法

(1)マウントアングルの前後移動

【適用機種:FK40－E及びFK50－E・FKD－Eのマウントレールを使用しない場合】

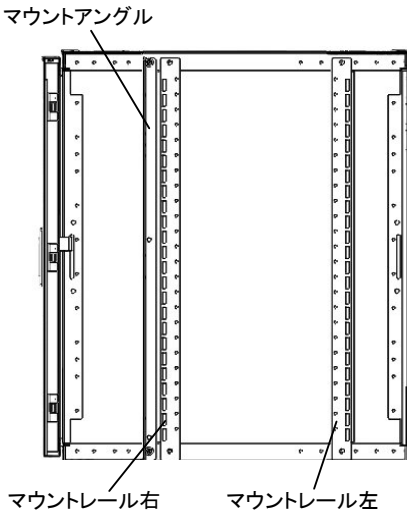
・マウントアングルを取付けているねじ(六角ボルトM5×2 個)を
取外しますと、前面側へ 30、50、80mm 移動が可能です。



(2)マウントアングル及びマウントレールの前後移動

【適用機種:FK50－E・FKD－E及びマウントレールを使用する場合】

・マウントアングルを取付けているねじ(六角ボルトM5×2 個)を取外しますと、前面側へ 80mm 移動が可能です。
その際、マウントレールは左右とも前面側へ、60mm 移動させてください(図 3)。
また、1 サイズ大きな台板セットやL型レールなどを取付したい場合は、マウントレール右は 80mm 前へ、
マウントレール左は 20mm 後へ、移動させてください(図 4)。



標準取付位置

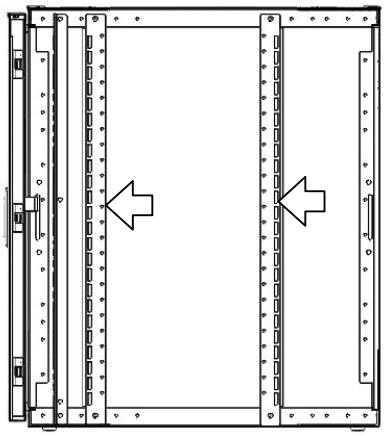


図 3

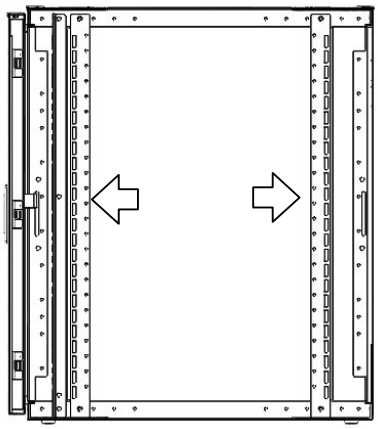


図 4

(ご注意)

・マウントアングル、マウントレール間のピッチを変更しますと、下記「表1」のオプションが取付けできない場合があります。

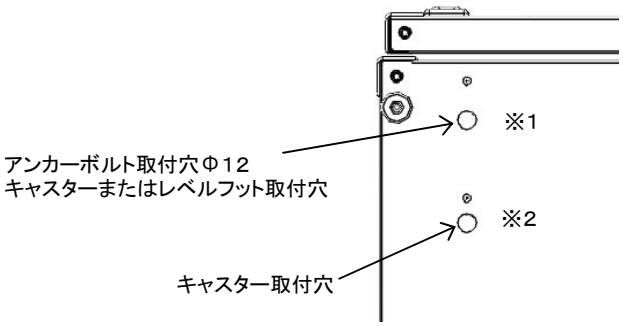
表1

スリット付台板セット ……(RD152－□SN)	重量用スライド式台板セット ……(RD161－□ES)
スリット付スライド式台板セット……(RD162－□SN)	L型レール ……(RD65－□PW)
重量用台板セット ……(RD151－□SN)	山型レール ……(RD62－□)

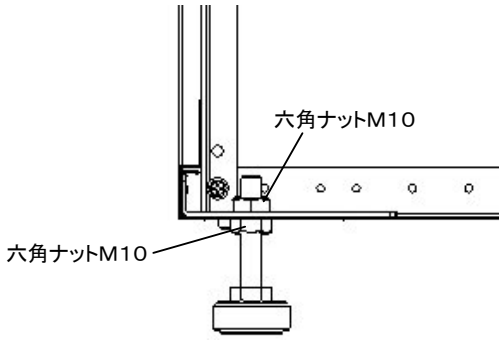
■各種オプションの取付方法

(1)キャスター(RD72−5(S)、−6(S))・レベルフット(RD73−6A)

・キャスター又はレベルフット取付けの場合、ラック本体底面の取付け穴φ12(※1)に取付けてください。
・キャスターとレベルフットを同時に取付ける場合、キャスターは取付け穴φ12(※2)に、レベルフットは(※1)に取付けてください。



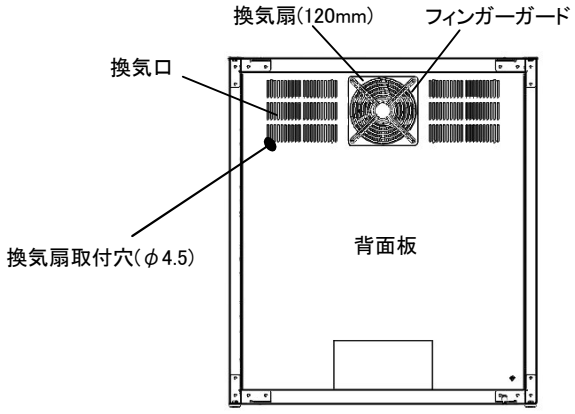
キャスター取付部詳細図



レベルフット取付部詳細図

(2)背面板への換気扇(120 ㎜角)

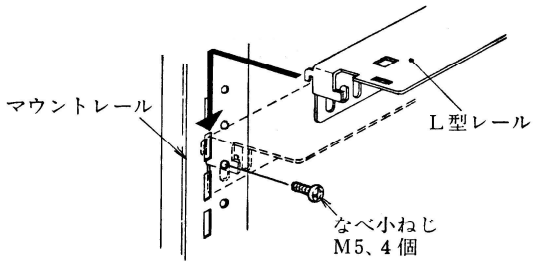
・背面板に設けられた換気口(120mm 角)をねじ止めにて固定してください。背面板への換気扇取付数は 1〜3 個です。



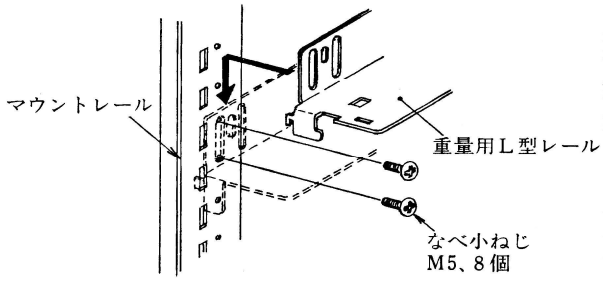
⚠警告			
回転物注意	回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。 必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。		保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。

(3)スリット付台板セット(RD152-□SN)・重量用台板セット(RD151-□SN)

①L型レールをマウントレールに引掛け、なべ小ねじM5にて固定してください。



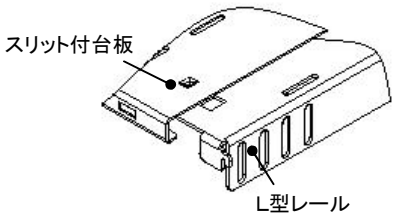
スリット付台板セット(RD152-□SN)

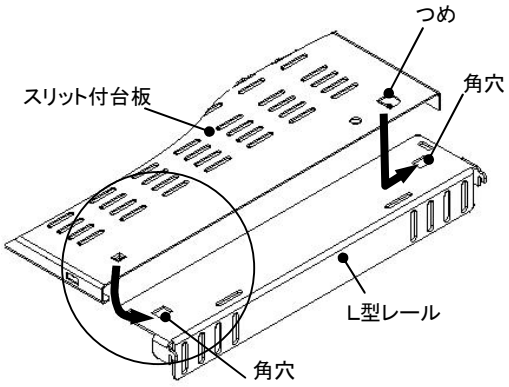


重量用台板セット(RD151-□SN)

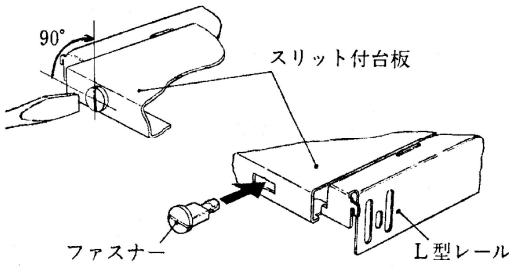
②台板のつめをL型レールの角穴に乗せてください。
台板の前側を 20mm 持上げた状態で後部のつめが
L型レールの角穴にかかるように押込み、台板の前面を
L型レールにはめ込んでください。

はめこみ図



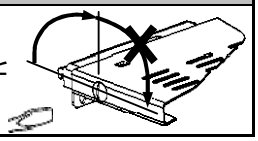


③ファスナーを前面の穴に差込み、マイナスドライバー等で時計回りに
90° 回転させてください。

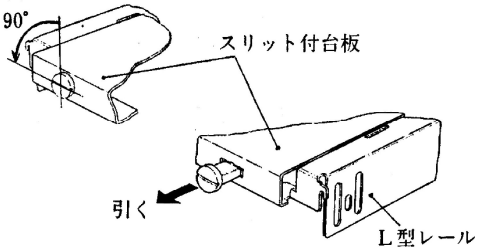


⚠注意

台板取付用ファスナーは 90° 以上
回さないでください。90° 以上回すと
破損の原因になります。



④台板を外す際は、ファスナーを反時計回りに 90° 回転させ
ロックを解除します。ファスナーを前面に引いた状態で台板を
外してください。

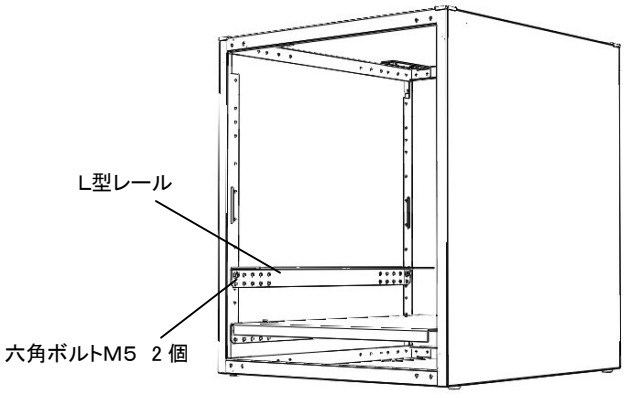


（ご注意）
台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト（RD821）
などで固定してください。

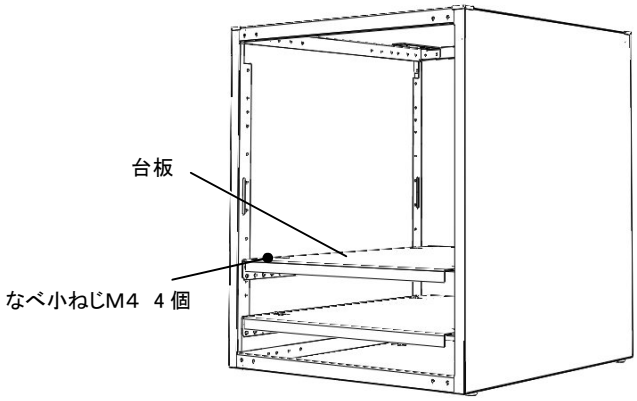
(4)台板(RD15－50N・50SN)とL型レール(RD65－48N)

【適用機種：FKP（台板タイプ）】

①L型レールをボデー側面の穴に合わせ、六角ボルトM5×2 個にて
固定してください。
（50 ㎜ピッチで位置を変更可能）

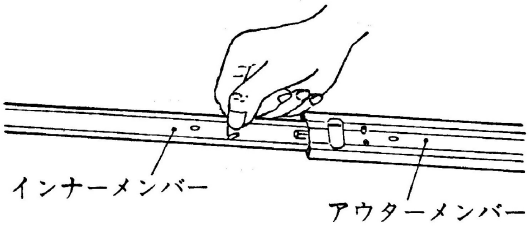


②台板をL型レールの上に載せ、なべ小ねじM4×4個にて固定してください。

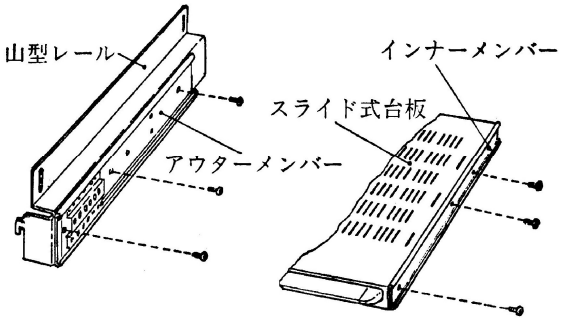


(4)スリット付スライド式台板セット(RD162ー□SN)

①スライドレールのインナーメンバーを引出します。
ロックを解除し、インナーメンバーをアウターメンバーから取外してください。

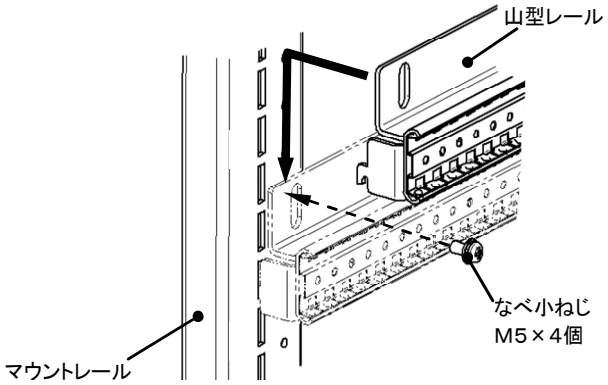


②山型レールにアウターメンバー、スライド式台板にインナーメンバーをねじ止めしてください。



③山型レールをマウントレールに引掛け、なべ小ねじM5にて固定します。
最後にスライド式台板をはめ込んでください。

(ご注意)
- 取付け後、2～3回スライドさせスムーズに出入れできるか確認してください。
- スライド式台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト(RD821)などで固定してください。



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2011年8月現在のものです。

B942454922ーB

NITO 日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION
お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL〈0561〉64ー0152
http://www.nito.co.jp